

令和8年度 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
福祉教養科	家庭	ライフデザインα	全	2	なし	なし
学習の到達目標			<ul style="list-style-type: none"> ・学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践し、創造的に解決する力を身に付けている。 ・課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、自己の家庭生活や地域の生活の向上に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 			
学期	月	単元	学習内容		到達度目標(学習のねらい)	
前期	4月	オリエンテーション テーマ設定	学校家庭クラブ活動とは テーマの設定		<ul style="list-style-type: none"> ・学校家庭クラブ活動について理解する。 ・意欲的に取り組める課題を見つけることができる。 	
	5月	計画の作成	年間計画の作成		<ul style="list-style-type: none"> ・目標を的確に把握し、具体的な計画を立てることができる。 	
		実践	資料収集 実態調査		<ul style="list-style-type: none"> ・テーマの内容に沿った資料を様々な方法で収集できる。 ・目的を理解し、的確な方法で実態調査ができる。 	
	6月		問題点の把握		<ul style="list-style-type: none"> ・実態調査から生活上の課題を発見することができる。 	
	7月		実践		<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識を持ち、意欲的に活動を実践することができる。 	
	9月	家庭クラブ活動 ※実施は適宜	家庭クラブ活動の実施		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の生活の充実向上を目指して活動することができる。 	
後期	10月	実践	工夫と改善		<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿って実践し、実践活動を発展させることができる。 	
	11月					
	12月	まとめ	反省と評価		<ul style="list-style-type: none"> ・実践を振り返り、成果と今後の課題を考察することができる。 	
	1月					
	2月	家庭クラブ活動 ※実施は適宜	家庭クラブ活動の実施		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の生活の充実向上を目指して活動することができる。 	

令和8年度 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
福祉教養科	家庭	ライフデザインβ	2年次以降	2	なし	なし
学習の到達目標			<p>○「ライフデザインα」での学習をさらに発展させ、次のことを学習の到達目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について具体的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・福祉施設でのレクリエーション対象者の心身の特性を理解したうえでの活動や声掛けを身に付けている。 ・課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、自己の家庭生活や地域の生活の向上に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 			
学期	月	単元	学習内容	到達度目標(学習のねらい)		
前期	4月	オリエンテーション 手紙の書き方	学校家庭クラブ活動の見通しを持つ 手紙の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の学校家庭クラブ活動について理解する。 ・手紙の形式とマナーを習得する。 		
	5月	家庭クラブ活動 福祉体験実習	施設訪問に向けた製作 事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語を、相手との距離感に応じて適切に使い分けられることができる。 ・贈る相手のことを考えて製作することができる。 ・加齢に伴う身体・心理的变化について理解する。 ・プライバシー保護と守秘義務の重要性を理解する。 		
	6月		レクリエーションの企画	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に安心感を与える適切な立ち振る舞いや、聞き取りやすい話し方ができる。 ・参加者の心身の特性を理解し、安全かつ無理なく参加できる企画を考えることができる。 ・活動の目的を考えることができる。 		
	7月		レクリエーション企画内容の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の状況に合わせた声掛けや配慮を考えることができる。 		
	9月	福祉体験実習	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を振り返り、他者に伝わるようにまとめることができる。 		
	後期	10月	施設訪問	事前学習 レクリエーションの企画と運営準備	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の振り返りを効果的に発表することができる。 ・福祉実習を通して学んだことを生かし、訪問に向けて意見交換することができる。 ・進行資料を作成することができる。 ・活動の目的を考えてレクリエーション内容を考えることができる。 	
11月			事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度に向けて振り返り、今後の課題を考察することができる。 		
12月		調査活動	テーマの設定 実態調査 アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉に関する課題を見つけることができる。 ・アンケート内容を考え作成することができる。 ・アンケートの結果をもとにグラフを作成できる。 		
1月			問題点の把握 実践 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・実態調査から問題点を把握し、改善方法を考えることができる。 ・視覚的資料を作成し発表することができる。 		
2月		家庭クラブ活動	次年度の活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の生活の充実向上を目指した活動を考えることができる。 		